

機械器具 01 手術台及び治療台  
 一般医療機器 汎用手動式手術台 36867010

特定保守管理医療機器

ポータブル手術台

**【警告】**

1. 本品を折り畳む際は挟み込みに注意すること
2. 本品を展開する際は挟み込みに注意し、固定部のロック機構が作動していることを確認すること
3. 本品に担架を固定し、担架上に患者を乗せた状態で脚を展開/収納する場合、担架上の患者の安全を確保し、状態を常に監視した状態で行うこと

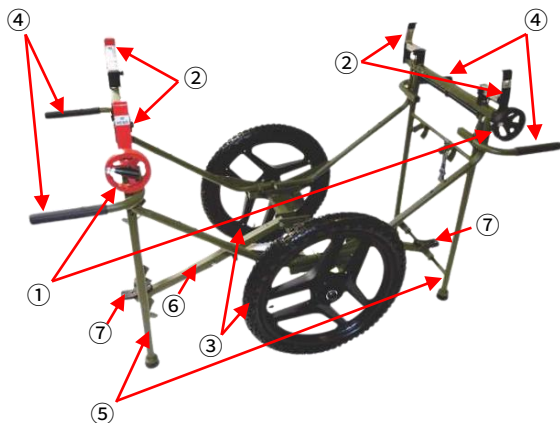
**【禁忌・禁止】**

1. 本品を改造・分解しないこと[本品の原理に記載された機構が動作しなくなる可能性がある]
2. 担架と患者の合計重量が耐荷重 227 kg を上回らないよう注意すること
3. 凹凸のある床面に設置しないこと
4. 位置を高くするために、本品の脚やホイールの下に物を入れないこと

**【形状・構造及び原理】**

1. 形状・構造

1.1. 展開状態



| 番号 | 名称         | 機能または動作                 |
|----|------------|-------------------------|
| ①  | ハンドホイール    | 固定用クランプの操作に使用する取手付きホイール |
| ②  | 固定用クランプ    | 担架を固定するために使用するクランプ      |
| ③  | ホイール       | 本品を移動及び停止する際に使用する車輪     |
| ④  | ハンドル       | 本品を移動する際に使用する持ち手        |
| ⑤  | 脚          | 本品を固定して台として使用する際に展開する脚  |
| ⑥  | 安定バー       | 脚を安定させるためのバー            |
| ⑦  | フットリリースペダル | 安定バーの固定を解除するためのペダル      |

1.2. 収納状態、担架固定状態



収納状態

担架固定状態

1.3. バー、その他器具取り付け状態



## 2. 寸法・仕様

|            |                  |
|------------|------------------|
| 展開時サイズ     | 158 x 62 x 86 cm |
| 収納時サイズ     | 52 x 62 x 84 cm  |
| 重量         | 45 kg            |
| 耐荷重量       | 227 kg           |
| 材質(本体フレーム) | 冷延鋼板             |
| 塗装(本体フレーム) | 粉体塗装、電気泳動塗装      |
| フレーム色      | オリーブドラブ、オレンジ     |

## 3. 付属品

| 名称                     | 個数 |
|------------------------|----|
| アクセサリレール               | 2  |
| メーヨートレー                | 2  |
| トレークランプ                | 2  |
| アームボード                 | 2  |
| パッド                    | 2  |
| 高さ調節可能な IV ポール         | 2  |
| IV ポール用レールクランプ         | 2  |
| リッターキャリア用ストレージキャッチャー   | 1  |
| メーヨートレーまたは他のアクセサリ用のポール | 1  |
| イグザミネーションライト & 電源プラグ   | 1  |
| 専用収納ケース                | 1  |

## 4. 原理

本品は、折畳式の金属製フレームとホイールから構成されているリッターキャリアと、それに接続するレールと器具のセットである。通常のリッターキャリアと一部パーツが異なっており、レールと接続可能なフレームになっている。担架をフレームに固定し、治療台兼用移送車（救急処置台ストレッチャー）として使用する。フレーム側面のハンドホイールを操作することで、固定具を担架のサイズに合わせて調節することができる。

また、本品を組み立て後、フレームにアクセサリ取り付け用のレールを接続することで、メーヨートレー、アームボード、IV ポール、イグザミネーションライトの取り付けが可能になる。

### 【使用目的又は効果】

本品は、手術が必要な部位の大部分に適応するように改良された完全移動型手術台（汎用）であり、治療台兼用移送車（救急処置台ストレッチャー）として使用することを目的とする。

## 【使用方法】

### 1. リッターキャリアの準備

- (1) リッターキャリアの上部にあるバックルをタイヤの間で外す。サイドクリップをぎゅっと握り、引き離す。



- (2) ハンドルをリッターキャリアから引き離し、持ち上げて操作位置まで展開する。



ハンドルは床と平行に固定される。



- (3) キャリアと並んで立ち、クランプの間でユニットの両側を掴み、互いに押し離す。



ホイールを取り外し、ピンを上に向けて近くに置く。「カチッ」という音が生じて両側が所定の位置にロックされるまで、力強く押し下げてキャリアの両側をかみ合わせる。



### 2. リッターキャリアを安定させる

- (1) 脚を固定するには、リッターキャリアの片側にあるハンドルを掴み、胸の方に向かって上に持ち上げる。

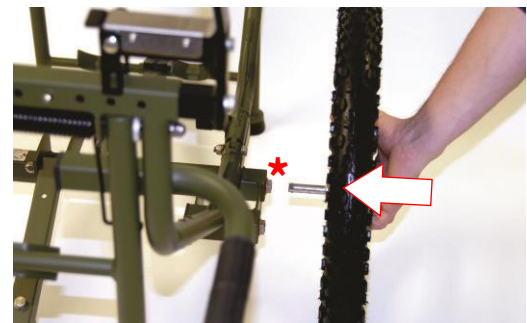


これにより、脚が静止位置にスイングされる。安定バーが「カチッ」と所定の位置に収まるまで持ち上げる。反対側でも同様に行う。



### 3. ホイールをリッターキャリアにロックする

- (1) ホイールハブ内のアクスルピンをリッターキャリア側面のピンハウジング\*に合わせる。ホイールとピンをピンハウジングに押し込み、ピンを挿入する。反対側でも同様に行う。

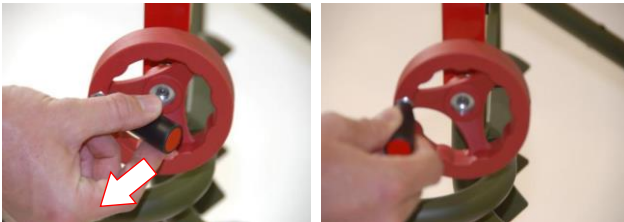


- (2) 通常の使用では、担架がより安定した状態で患者を搬送できるように、オフセンターピンハウジングを使用する。(緑色の四角と矢印を参照)



#### 4. 担架をリッターキャリアに固定する

- (1) ハンドホイールを素早く回転させるため、折り畳まれていたピンを外側へ引き出す。



- (2) リッターキャリアの両端に均等に重量がかかるように、患者を乗せた担架は中央付近に配置すること。患者の頭は、赤色のハンドホイールの側になるようにする。担架が置かれたら、クランプが担架の両側できつく締まるまで、赤と黒のハンドホイールを時計回りに回す。
- (3) 担架を取り外すには、両方のハンドホイールを反時計回りに回す。その後、ピンをハンドホイール内に折り畳む。

#### 5. 移送車として使用する場合

- (1) リッターキャリアを安全に運ぶには、両方の脚を下に折り畳む必要がある。  
まず、患者の足の下にある一対の脚を折り畳む。両手で担架のハンドルをゆっくりと持ち上げながら、足でリリースペダルを押す。これを、患者の頭側でも行う。  
リッターキャリアの固定に使用していた両脚が折り畳まれたら、移送車として使用できる状態になる。
- (2) 2人での輸送が推奨されるが、1人でも運ぶことができる。その場合、運搬者は患者の頭側、赤いクランプの方に位置すること。

#### 6. リッターキャリア単体で移動する場合

- (1) 固定用の脚をリッターキャリアに添わせるように折り畳む。



- (2) 片側のハンドルを持ち、手押し車として使用する。



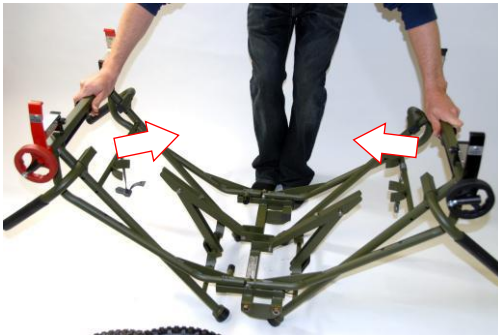


## 7. 分解と保管

- (1) ホイールを取り外す。ホイールをリッターキャリーから引き離す際は、ホイール中央にあるボタンを押す。その後、ピンを上にして近くに置く。



- (2) ハンドルをゆっくり持ち上げながら、フットリリースペダルを押して、一对の脚を閉じる。反対側も同様に行う。
- (3) リッターキャリーの側面に移動し、赤と黒のクランプの間のフレームを掴む。両端を互いに向かって力を入れて引っ張り、ロックを解除する。



- (4) 2つのホイールをハウジングのスロットに配置する。ピンが外側へ向いていることを確認する。



- (5) リッターキャリーの両側を引いて閉じたら、ホイールが正しい位置にあることを確認する。その後、ストラップを締めて閉じる。



- (6) 各ハンドルをリッターキャリーから引き離し、地面に向かってひねる。ハンドルは下向きに固定される。



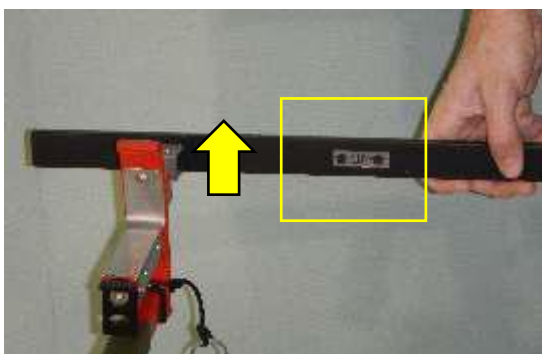
## 8. アクセサリーレールの取り付け

「2. リッターキャリアを安定させる」に記載されている脚を展開した状態で開始する。

- (1) アクセサリーレールを準備する。
- (2) 赤と黒のブラケットからピンを取り外す。



- (3) 両側のハンドホイールが、リッターキャリアから等しい距離離れていることを確認する。
- (4) アクセサリーレールの内側にある矢印のステッカーを上を向くようにする。



- (5) レールの裏側にある挿入用キューブを、赤と黒のクランプにあるブラケットに合わせる。入れづらい場合は、クランプを手で少し動かし、キューブの位置と合わせる。



- (6) 赤と黒のブラケットの引き出し幅が、同じであることを確認する。ブラケットを操作する場合は、常に同時に行うこと。
- (7) キューブをブラケットに挿入できたら、取り外したピンを赤と黒のブラケットの穴に入れて、キューブを確実に固定する。
- (8) もう片方のレールも同様に固定する。

## 9. アクセサリークランプの取り付け

- (1) レールが所定の位置に固定されたら、アクセサリークランプを取り付ける。クランプを反時計回りに回転させて、開いた状態にしておく。現行品は下図の青色のクランプになっている。



- (2) クランプをアクセサリーレールの両端にスライドさせる。クランプはアクセサリーを取り付けるまで開いた状態にしておく。



## 10. IV ポールの取り付け

- (1) IV ポールをアクセサリークランプに差し込む。安定性を確保するため、2.5 ~ 5 cm ほどクランプの下にポールが出ているようにする。



- (2) アクセサリークランプのハンドルを操作し、IV ポールを固定する。
- (3) IV ポールの高さを上げるには、シャフト上部のダイヤルを緩めて、IV バッグサポートピースを上げる。
- (4) 最適な高さまで伸びたら、ダイヤルを締めて固定する。

## 11. アームボードの取り付け

- (1) アームボードとパッドの位置を確認する。各パーツにはベルクロテープが付いているので、これらを揃えて押し合わせる。
- (2) 完了後、アームボードのポールを取り付ける場所のクランプに配置する。高さ、向きを調整し、ソケットハンドルを締める。



## 12. メーヨートレーの取り付け

- (1) 2種類のサイズのメーヨートレーがあるので、必要な方を選択する。
- (2) 取り付ける IV ポールが、十分に固定されていることを確認する。
- (3) トレーのフレームのタブを、メーヨートレークランプに差し込む。



- (4) クランプのダイヤルを緩めて、IV ポールが収まる幅にする。
- (5) 位置と角度を決め、ダイヤルを締めて固定する。

## 13. ストレージバッグの取り付け

- (1) バッグ中央にあるタブを外す。



- (2) バッグをキャリアの反対側に広げる。



- (3) バックルを使って角に固定する。



## 【使用上の注意】

### 1. 重要な基本的注意

- (1) 本品の動作原理及び操作方法を熟知し、十分なトレーニングを行った上で使用すること。
- (2) 本品を使用する前には、ロック機構やホイール、ハンドホイールの操作を行い、本品が正確に作動するか確認すること。
- (3) 機器全般及び患者に異常のないことを常に監視すること。
- (4) 折り畳み時、展開時には挟み込みに注意すること。
- (5) 固定台として使用する際は、脚がロックされていることを確認して使用すること。
- (6) 担架を載せた状態で本品の端に直接座ると、転倒のおそれがあるため行わないこと。
- (7) 故障した場合の修理は、自らの判断だけで行わず、必ず取扱店まで連絡すること。
- (8) 本品は改造しないこと。
- (9) 本体に悪影響の生ずる恐れのない場所に保管すること。

### 2. 不具合・有害事象

以下の不具合・有害事象が発現する可能性がある。

#### (1) 不具合

##### [ その他の不具合 ]

- i. 不適切な使用による器具の作動不良、分解、破損

#### (2) 有害事象

##### [ その他の有害事象 ]

- i. 手術台からの落下、及び落下による負傷
- ii. 折り畳み時、展開時の挟み込み、及び挟み込まれによる負傷

上記の項目が不具合・有害事象の全てではない。

これらの不具合・有害事象の治療のため再手術が必要な場合もある。

## 【保管方法及び有効期間等】

### 1. 保管方法

水濡れに注意して、直射日光及び高温多湿をさけて常温で保管すること。

### 2. 有効期間

本品に有効期間の表記はないが、保管方法の項に記載されている条件で適切に保管し、定期的に状態を確認すること。劣化が確認できた場合は、廃棄すること。

## 【保守・点検に係る事項】

- (1) 保守点検は最低でも年に一度行うこと。
- (2) 半年に1回は動作確認、並びに予防整備を実施すること。
- (3) 使用状態に応じて、保守をさらに頻繁に行うこと。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

### 1. 製造販売業者

株式会社オーストリッチインターナショナル

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区一丁目14番地20

光正第2ビル301

電話：045-470-9041（代）

FAX：045-470-9043

### 2. 製造業者

FareTec, Inc（アメリカ合衆国）